

## 島前合宿について

私が島前合宿に参加したいと思った理由は、いろいろなジャンルの福祉を学んで、そこから自分が本当にやりたいことを見つけようと思ったからです。それに加え、島前合宿についての説明を聞いた時に、単純に興味があったからです。島へ行って、何日間か泊まって、その間に島の人を交流し、その島の良さを知るという経験は、普段の生活では経験できないことだと思います。自分で調べて行くということもなかなか難しいです。だから、このような企画があり、参加してみたいと思いました。

一日目は、夜に島前合宿に参加する人たちと新宿で集合し、松江行きの夜行バスに乗りました。13時間くらい夜行バスで過ごしました。私は、初めての夜行バスだったので、13時間は結構大変でした。松江駅に着いたら、バスで七類港まで行き、七類港からフェリーに乗って、西ノ島町まで行きました。船に乗ることも初めてだったので、船酔いをしないか不安でしたが、一通り船の中をまわったり、海を見たりした後、夜行バスでの疲れか、西ノ島町に着くまで寝てしまいました。寝てしまいましたが、船から見る海はすごくきれいで、感動しました。西ノ島町に着いて、現地の食堂でお昼ご飯を食べた後、これから生活する若者宿に行きました。若者宿は、広くてきれいでした。

宿での食事は自分たちで作らなければ行けないので、一人暮らしをしてるとはいえ、食事が作れるか不安でした。

宿についてから、夜ご飯を作るまで時間があつたことと、晴れていたことから近くの海へ行くことになりました。海はすごくきれいで、底が見えるくらい透明度が高かったです。それから、みんなでカレーを作りました。夜行バスで13時間、フェリーで2時間半は正直東京に戻りたくなるほどきつかったです。底が透けて見えるくらいきれいな海を行ったり、みんなで協力しながら夜ご飯を作ったあとは、これからの生活が楽しみになっていきました。

二日目は、土砂降りの雨の中、西ノ島中学校というところに行き、私たち大学生が中学3年生に大学生についてのことを中学生からの質問形式で話しました。私はまだ大学一年生で大学に入って4か月ほどしかたっていません。だから、話す前自分がしっかり相手の中学生に大学生について伝えることができるかすごく不安でした。中学生からの質問に答えているときも、ちゃんと中学生のためになるような話ができているのかなと心配しながら話していました。私が話したことから何か中学生が自分の将来について改めて考えるような機会ができればいいなと思います。

中学生との話が終わった後、中学校で給食をいただきました。高校、大学と給食がないので、給食を食べるのは、すごく久しぶりでした。自分が中学生のころを思い出しました。給食はやっぱり多いなと思いました。自分が中学生だったころ、終わりの時間ぎりぎりまで食べていたことを思い出して懐かしくなりました。そのあと、ペアの中学生の子に中学

校内を少し案内してもらいました。新しくしたばかりだったので、どこもきれいでいい環境だなおもました。中学校を出るころには雨をやんでいました。

中学校に行った後は、畜産をやっている道前さんという人に畜産についてのお話と実際やっている畜産の現場を見させてもらいに行きました。私は、畜産について全く知らない状態だったので、たくさん牛がいる中で、道前さんのお話を聞き、新しい知識がたくさん増えました。その日の夜道前さんがバーベキューに招いてくれました。とても豪華でした。お肉はもちろん魚や貝なども出てきて、びっくりしました。すごくおいしかったです。隠岐牛も食べさせてくれました。隠岐牛はほかのお肉と違って口の中ですぐなくなってしまうくらい柔らかくておいしかったです！

3日目は、午前中に前日の中学校での話と道前さんの畜産見学についての振り返りをしました。良かった点、改善したほうが良い点を、一人ずつ発表して行って、今後に生かせるような話し合いができたと思いました。午後には、内航船で海士にいき、キンニャモニャ祭りを見に行きました。海士でも、少しだけ海に行きました。西ノ島も海士の海も透き通っていてやっぱりきれいだなと思いました。海に行ったあと、祭りの売店を見てかき氷を買って食べたりしました。そのあと、キンニャモニャの踊りが始まり、みんなで見ていました。キンニャモニャの踊りはおそろいのしゃもじを使って踊っていました。たくさんグループが参加していて、個性的な衣装をきて参加しているグループをあり、見ていて、すごく楽しめました。地元の高校生や、外国人の方も参加していました。見ていたら、急きょキンニャモニャ祭りでの踊りの飛び入り参加が決まって、みんなで踊りました。踊るときしゃもじを運営の方が貸してくれ、それを使って踊りました。踊る前に見ていたので、だいたいの踊り方はわかっているつもりでしたが、いざ踊ってみるとこのあとなんだっけとか間違えて違うふりをしてしまったりして、焦りました。でも、踊っていると慣れてくるもので、終盤にはちゃんと踊れるようになりました。すごくたのしかったです。踊り終わった後、運営の方が貸してくれたしゃもじをくださいました。祭りが終わった後、西ノ島に戻り、近藤さんという方から車を借りて、星を見に行きました。展望所では、上も横も星空で、すごくきれいでした。東京では味わえない経験をしたと思います。流れ星もたくさん見ました。普段流れ星を見る経験など全然ないので、感動しました！

4日目は、西ノ島、海士、知夫の3つの島から好きな島を自由に選んで観光しました。私は、知夫を選びました。西ノ島で生活し、キンニャモニャ祭りで海士に行ったので、まだ行ったことのない知夫に行きたいと思い、知夫にしました。知夫の3つの島の中で一番人口が少なく、島自体の面積も小さいので、一日あれば歩いてまわれるそうです。観光した日は、土砂降りの雨で、行きは内航で行けても、帰りは内航船が止まってしまい帰れなくなる可能性もあり、直前まで知夫に行こうか迷っていましたが、行ったことないところに行きたいという思いが強かったので、行きました。行ったはいいものの雨がとてもひどく歩いてまわるのは厳しいと思っていたら、一緒に知夫に来ていた先輩たちがレンタカーを借りていて、乗せてくれたので、レンタカーで島をまわることになりました。島をまわりながら、

見つけたレストランで、島特産のサザエ天丼を食べました。とてもおいしかったです。島なので、やはり海鮮が有名なんだと思いました。そのあと、島観光を再開し、車で一通りまわりました。その間、あまり人や車を見かけませんでした。雨がひどかったということもありますが、島の人口が少ないことを実感しました。車でまわったあと、帰りの予定の時間より早かったのですが、帰りの内航船が止まらないうちに、西ノ島へ帰りました。今回はゆっくり知夫観光ができなかったのが、次来るときは、ゆっくり歩いて観光したいです！雨ではなく晴れてほしいです！

5日目は、西ノ島町役場の方から、西ノ島町についてのお話を聞きました。お話から西ノ島町の人口は3000人弱で、その中で高齢化率は約4割だということ、老人ホームが少ないこと、保育園は町内に公立、私立それぞれ一つずつしかないこと、小学校は一学年20人前後で、その数も年々減少傾向にあるということ、西ノ島の観光名所である摩天崖は海に面する崖の高さが日本一ということ、イカのまちづくりを行っていて、ゆるキャラの活イカ活っちゃんがいること、子育てなどの制度が充実していること、出産の際、臨月くらいになると本土のホテルに宿泊するそうなのですが、そのときの宿泊代を少し町が負担してくれるといことなど西ノ島町の行政についてたくさん知ることができました。離島だから、若い人が返ってこないのではないかという疑問がありましたが、話を聞くと、たしかに若い人のなかで島に戻って仕事に就く人の数は多くないそうですが、島を出ていた人たちが、島に戻ってきたときに受け入れる体制をつくれるようにしているそうです。また、役場では離島だけど本土と変わらないようにしていこうという方針で行政に努めているそうです。役場の方々に話を聞いた後、船にのって帰る予定でしたが、この日の船が動かないため延泊知ることになりました。その日の夜、星を見に行くときに車を貸してくださった近藤さんがお寿司をごちそうしてくれました。とてもおいしかったです！

そして6日目に船に乗って本土まで行き、特急、新幹線で東京まで帰りました。船に乗って島を出るとき、近藤さんが見送ってくれました。とてもうれしかったです！船からの特急、特急からの新幹線で、行きほどではないものの時間がかかって家に帰ったときにはくたくたでした。

今回、この企画に参加して、まちづくりについての興味がすごくわきました。行くのはすごく時間がかかり、大変だけど行ったらいろいろ普段経験できないことが経験でき、自分の視野がすごく広がったと思います。まちづくりで有名な西ノ島に行き、実際にまちづくりのしている人から直接、お話を聞くことはすごく貴重な体験だと思いました。また、町の人と少しですが、交流でき今後の自分の将来に生かせる経験ができました。また、勉強しただけではなく、観光もできました。自分ではなかなか、夜行バスや船を使って、遠くの島まで行く勇気がないので、この企画で、星を見たり、摩天崖に行ったりして島前の島の自然にもふれることができ、観光としてもすごくたのしかったです。また、来年もこの企画があれば参加したいと思いました。